

# 日本を 学ぶために



日本  
教養  
力  
本

東京外国語大学「教養日本力」高度化推進プログラム



## 特色 GP「教養日本力」高度化推進プログラム 終了に際して

本プログラムは、自明なものとして「日本」や「日本人」をとらえるのではなく、まず日本について自ら問い、考える力を養っていくことが重要ではないかという姿勢に立って、2007年度から3年（実質2年半）の間、さまざまな活動を通じて、この課題に取り組んでまいりました。

本学では多くの人たちが在学中に留学しています。日本を離れ、世界各国でさまざまな人たちと出会うなかで、あらためて「日本」について考え、そして感じて、キャンパスに戻って来た方も多と思います。留学先で出会った人たちに、「日本」についていろいろ尋ねられ、こたえに窮した体験をもつこともあったのではないのでしょうか。また、多くの留学生との出会いの場でもあるキャンパスにおいても、同様の問いに窮した体験をもつ方は少なくないと思います。そんな時、「あーあ、本当に日本のことについて知らないな」とか「もっと学んでおけばよかった」と痛感することも多々あるのではないのでしょうか。

「教養日本力」高度化推進プログラムの事業は、このようみなさんの先輩たちの体験や声にも後押しされて進められました。その活動の事跡の一端は、村尾誠一『外国に行く前に外国人と学び直す古文の基礎』、シンポジウムや講演を収録した『さまざまな日本のすがたを知る』（I およびII）等の刊行物に示されています。留学先から戻ってきた学生たちが、外から「日本」をどのように感じ、とらえたのかについて共有できたらと考えて企画した座談会も行いました。このなかから出た要望にこたえて、非常勤講師による授業を開講する等もしてまいりました。同時に、本学で学ぶ留学生の座談会もおこなったりもしてきました。市民の方にも参加していただいた源氏物語の公演も、本プログラムの取組みのひとつです。

さらに本プログラムの大切な事業として、本学で開講さ

れている日本関係の授業についてのリーフレットを作成しました。これから学ぶ（または学びつつある）専攻地域の言語や文化・社会を深く理解するためには比較の視点が不可欠であり、それを身につけるためには、まず足もとの日本を意識的に学ぶことが必要だと考え、本学で開講されている日本関連授業をわかりやすい形でみなさんに提示することにしたのです。東京外国語大学では、実は日本を知る手がかりとなる多くの授業が開講されています（もちろん充分だとは思っておりませんが）。ただしそれがなかなか見えにくかったのではと考え、事業の一環として、昨年度からリーフレットを作成してきました。リーフレットではみなさんの履修のヒント（手がかり）になるように、関連授業をテーマごとに、以下の六つにジャンル分けてみました。

1. ことばを学ぶ・教える
2. 文学を読む・思想を知る
3. からだを動かす（運動文化）・ことばで遊ぶ
4. さまざまな歴史のすがたを知る
5. 現代社会を知る
6. 文化の多様性にふれる

この分類は必ずしも厳密なものではありませんが、履修を考える際の参考にしていただければと思います。積極的な履修を期待しています。

自分を見つめるまなざしを持ち、「日本」にたいする理解を深めていくこと、それが他国の文化を尊重する姿勢につながるのではないのでしょうか。グローバル化が進行する現在、まず足元をみつめて、日本で起こったこと（起こりつつあること）へのより深い正確な認識と自らを見つめるまなざしを持ち、自分のことばをもって発信していくことはますます必要となっていきます。本プログラムはささやかではありますが、このような課題への模索の歩みだったといえましょう。終了にあたり、ご協力いただいたすべてのみなさまに感謝いたします。



# 1. ことばを学ぶ・教える

履修番号	科目	講座名	日程	講師	講座内容	共通科目
3701	日本地域言語論	おもしろい言語学・感動編1	前期水2	風間伸次郎	「世界に何千もの言語があって、そのそれぞれに独自の音韻や文法の体系があるなんてすごいなあ、言語学ってこんなに面白い学問なんだ！！」と思うようになること。前期は主に名詞類の文法カテゴリーを中心に、世界の諸言語の例を対照しつつ、言語学の諸問題について考察してゆく。	言語記述理論(講義) 〔5012〕、日本語教育学研究Ⅱ〔5314〕
3702	日本地域言語論	おもしろい言語学・感動編2	後期水2	風間伸次郎	「世界に何千もの言語があって、そのそれぞれに独自の音韻や文法の体系があるなんてすごいなあ、言語学ってこんなに面白い学問なんだ！！」と思うようになること。後期は動詞の文法カテゴリーを中心に、世界の諸言語の例を対照しつつ、言語学の諸問題について考察してゆく。	言語記述理論(講義) 〔5013〕、日本語教育学研究Ⅱ〔5315〕
3703	日本地域言語論	日本語史概説(語彙・文法)	前期月3	川村大	日本語の歴史を概観し、日本語(史)研究の上で必要な基本的知識を身につける。	日本語研究(講義) 〔5298〕
3705	日本地域言語論	日本語・英語対照による対照言語学入門	前期火4	望月圭子	日本語教育に必要な言語学の知識を、主に日本語と英語の対照を通して、習得すること。日本語を、英語・中国語と対照比較して、言語の普遍性と個性について考察し、日本語教育・英語教育・中国語教育に応用すること。	日本語教育学研究Ⅱ 〔5310〕
3706	日本地域言語論	日英語対照:英語で説明する日本語文法	後期火4	望月圭子	Introducing main topics in Japanese Grammar by comparing them with English in the international class.	日本語教育学研究Ⅱ 〔5311〕、総合科目Ⅶ (ISETUFS)〔9473〕
4022	言語教育学基礎	日本語教育学概論	前期木1	河路由佳	日本語教育・学習、またその研究に関わる基本的知識と問題意識を養う。	
5117	言語教育学(講義)	近代日本と日本語教育	前期金2	河路由佳	近代以降、特に19世紀末からの日本における日本語教育の歴史をたどりながら、社会と言語、そしてその教育との関係について理解を深め、言語学習、言語教育という営み、言語教育者の仕事について考える力を養う。	
5118	言語教育学(講義)	日本語教育のための音声トレーニング	後期金2	河路由佳	日本語の教育のモデルとなる日本語音声とはどのようなものか、教授者として望ましい音声表現とは何か、それぞれの学習者にとって必要な音声学習はどのようなもので、その指導はいつかあるべきかについての考察を深める。その上で、実際に音声をコントロールする技能、豊かな音声表現力、学習者の音声の問題点を聞き分けそれを記述するための知識と技能、また学習者から話を聞きだす技能など、言語教育者に必要な知識と技能を身につける。	
5119	言語教育学(講義)	言語社会心理学Ⅰ	前期木3	宇佐美まゆみ	これまでのボライトネスにかかわる諸研究、諸理論の批判的検討を行うとともに、従来のボライトネス理論の問題点を克服する形で展開してきたディスコース・ボライトネス理論についての理解を深める。また、これらの研究と学生各自の研究がいかに関連するかについて考えを深める。	
5120	言語教育学(講義)	言語社会心理学Ⅱ	後期木3	宇佐美まゆみ	「言語社会心理学Ⅰ」で扱った内容の中から適当なテーマを選び、関連文献を読んだり、共同作業を進めていくことによって、「言葉と社会に関わる問題」と、その研究方法についての理解を深め、学際的領域である「日本語教育学」の一視点としての「言語社会心理学」の意義について、理解を深めることを目標とする。	
5300	日本語研究(講義)	日本語の文字・表記	後期木4	屋名池誠	1 文字・表記の一般的な性質を理論的・体系的に把握する。2 日本語の文字・表記の特質を深く理解する。	
5301	日本語研究(講義)	日本語の述部形態	後期木5	屋名池誠	日本語の述部の形態は従来も「活用」の問題として研究されてきた。アクセントの面も含めて、新しい立場から、精密な分析をおこなう。	
5302	日本語教育学研究Ⅰ(講義)	現代日本語の文法	前期月4	三枝令子	日本語教育の現場で必要になることも考慮に入れながら、現代日本語の持つしこみを考え、言葉の持つおもしろさを知ると同時に、文法に関する認識、知見も深める。	
5303	日本語教育学研究Ⅰ(講義)	現代日本語の文法(2)	後期月4	梁井久江	・学習者の多様化の背景について理解する。・日本語の文法事象に潜む学習困難点を整理し、自分の言葉で説明できる。・教科書を、目的、対象、構成等の点から分析し、評価・選択できる。	
5306	日本語教育学研究Ⅰ(講義)	外国語教授法と日本語教育	前期火3	海野多枝	2つの代表的な外国語教授法を取り上げ、それぞれの基本原理、シラバス、教授手順について、日本語教育の実践例を通して理解する。	
5307	日本語教育学研究Ⅰ(講義)	第二言語習得と日本語教育	後期火3	海野多枝	近年の第二言語習得研究の成果を理解し、日本語教育に与える示唆について考察する。	
9402	総合科目Ⅰ	日本語学入門1	前期月2	川村大	本学の学生であれば、専攻語の地域で日本語教育の仕事に携わることもまれではない。また、仕事としてではなくとも日本語について質問を受けることもよくあるであろう。しかし、日本語の母語話者であっても、そのしこみについては何も知らないのが普通である。この講義は、日本語の各分野を概観し、日本語学の基礎知識を身につけることを目的とする。	
9443	総合科目Ⅵ	言語技能入門Ⅱ:日本語	後期水3	河北祐子	コミュニティー通訳者としての言語技能(日本語)について知る、考える。地域において必要とされる外国人支援に関わる日本語の言語表現を知り、実際の活動時に応用できるようになる。	
9452	総合科目Ⅶ(日研生科目)	日本語生成文法入門	前期金4	中村彰	生成文法の基本的な考え方、方法論を理解し、それを日本語の分析に利用し、日本語の文の構造を理解する。その際、英語、その他の言語のデータも利用し、対照的に見ることによって日本語に対する理解を深める。	
9454	総合科目Ⅶ(日研生科目)	現代日本語意味論入門	後期火3	鈴木智美	現代日本語の多義語・類義語・連語・メタファーなどを題材としながら、言葉の「意味」のおもしろさを発見し、意味分析の基本姿勢を学ぶことを目標とします。	
9455	総合科目Ⅶ(日研生科目)	対照言語学入門	後期金4	中村彰	日本語およびその他の言語のデータを使って、対照言語学の基本的な方法論を理解する。歴史的な関係を考慮せず、音声、音韻、形態、文法、語彙などを比べることにより、いろいろな言語の共通点や相違点を明らかにし、それにより、日本語の特質がなんであるかを理解する。その際、生成文法の視点を取り入れた対照言語学的な分析も紹介する。	



9467	総合科目Ⅷ (ISEPTUFS)	日本語と文化	前期木5	中島久朱	言語と文化は密接に結びついており、言語を学ぶ際にはその言葉が話されている国や地域の文化を学ぶことの重要性が広く指摘されている。日本語教育においても、教師から学習者へ一方的に文法知識を伝えるだけではなく、互いの背景に注目し、相互に教え、学びあうことが求められている。本授業では、日本語教育、日本語学習においてどのように文化が扱われているか、日本の文化のみならず、他国の言語や文化を日本人が如何に理解し受け入れてきたのかということにも目を向けつつ、考察を深める。	
9481	総合科目Ⅶ (日研生科目)	日本語と日本語教育 研究の諸相	後期火4	中村彰	日本語研究および日本語教育研究における様々な興味深い研究テーマを、順に学んでいく。日本語を媒介言語として、日本語・日本語教育に関わる講義を聴き、各自の興味に合わせてさらに理解を深めて行くことを目標とする。	
9489	総合科目Ⅰ	多言語社会としての 日本と日本語	前期木5	前田達朗	ここでは「日本語」と我々が日常何気なく使っていることばをまず「疑う」ことから始める。そして日本語そのものだけでなく言語社会としての日本のありさまをより理解するために、日本以外の国や地域の事例も紹介しつつ「多言語社会」をもういちど考え直す機会にしたい。	

## 2. 文学を読む・思想を学ぶ

履修 番号	科目	講座名	日程	講師	講座内容	共通科目
3707	日本地域文化論	近代日本思想と 東アジア	前期金2	米谷匡史	近代日本の歴史・思想を、東アジア(中国・朝鮮・台湾など)との連関のなかで、批判的に分析する視座を探ります。	日本文化論(講義)[6132]
3723	日本地域文化論	〈戦後〉日本思想と アジア	後期金2	米谷匡史	〈戦後〉日本の歴史・思想を、冷戦期・アジア(東アジア・東南アジア)の連関のなかで、批判的に分析する視座を探ります。	日本文化論(講義)[6133]
3708	日本地域文化論	古典文学講義	前期月1	清水由美子	平家物語は多くの諸本となって広まり、能・歌舞伎・近代小説などに多く取り上げられて日本の文化や日本人の心情に大きな影響を与えてきた。この作品の読解を通して日本の古典文学に触れ、それを通して文学のみならずその背景となった歴史的状况について考察する方法を学ぶ。	日本文学(講義)[6236]
3709	日本地域文化論	日本文学講義 ・日本漢文研究	後期月1	清水由美子	漢文学とは、狭義では日本人が作った漢詩文やそれに関する研究をさすこともある。本講義では、古来日本人が親しんだ中国の漢詩文や日本人の手による漢詩文について、できる限り多くの作品から広く知識を得、さらには、漢文が日本文学に与えた影響について考えることを目標とする。	日本文学(講義)[6237]
3710	日本地域文化論	物語と作者	前期月3	柴田勝二	物語、小説の世界において、〈作者〉はどのような位置を占めるのか。60年代以降の潮流の中で、〈作者の死〉が宣せられ、作品を一個のテキストとして眺める方法が定着したが、〈作者〉の意識的営為がなければ作品は存在しない。その営為の様相と産出されるテキストとの相関を捉えていきたい。	日本文学(講義)[6240]
3711	日本地域文化論	物語と作者	後期月3	柴田勝二	物語、小説の世界において、〈作者〉はどのような位置を占めるのか。60年代以降の潮流の中で、〈作者の死〉が宣せられ、作品を一個のテキストとして眺める方法が定着したが、〈作者〉の意識的営為がなければ作品は存在しない。その営為の様相と産出されるテキストとの相関を捉えていきたい。	日本文学(講義)[6241]
4026	文学研究基礎	文学・文化リテラシー 入門	後期火4	李孝徳	作品の読解を通して文学・文化研究に際して必要とされる文化リテラシーについての理解を深め、練成する。	
4040	総合文化研究 基礎	文化を読み解く ためにA	前期月5	李孝徳	現代社会を取り巻く文化現象を取り上げて分析し、文化リテラシーについての理解を深め、練成する。	
4046	政治学基礎	政治学入門― 社会科学のこぼ	前期火1	大川正彦	この国における社会科学のこぼの成り立ち、経緯、由来を興味しながら読み、自分で問題を発見して、学問的な思考(読み書き調べ考えるわざ)を身につけ、それをかたちにするためのサポートを行う。	
4058	社会学基礎	ジェンダー論基礎Ⅰ	前期金2	金富子	ジェンダー研究は、日常のなかで当たり前のように存在する、ジェンダーに関わる現象の自明性や普遍性を疑うことから出発する。またジェンダー研究は女性を対象にする研究(女性学)と思われがちだが、現在では男性学、セクシュアリティ研究、クィア研究なども密接な関連をもつて発展している。以上をふまえて、現代日本社会のジェンダーのあり方について、世界各国の事例なども視野に入れながら、現状と基礎的な理論を学ぶ。	
4059	社会学基礎	ジェンダー論基礎Ⅱ	後期金2	金富子	後期の授業の目標は、セクシュアリティ(「性的」と感じる事象・行動・傾向)にも注目して、現代社会のジェンダーやセクシュアリティのあり方、それらと個人や社会との関係について、世界各国との比較も視野に入れながら、さまざまな事例から考え、自分なりの視点をもつことである。	
6001	哲学(講義)	戦後日本の精神史Ⅰ	前期月4	岩崎稔	1945年以後の日本語圏の思想史を検討し、戦後史におけるさまざまな批判的営みを理解するだけでなく、それらが現代の状況とどのように結びついているのかについて、明確なイメージを獲得する。〔敗戦直後から60年安保闘争まで〕	思想文化論(講義) [6007]、政治学(講義) [7059]
6002	哲学(講義)	戦後日本の精神史Ⅱ	後期月4	岩崎稔	1945年以後の日本語圏の思想史を検討し、戦後史におけるさまざまな批判的営みを理解するだけでなく、それらが現代の状況とどのように結びついているのかについて、明確なイメージを獲得する。〔高度経済成長期から現代の新自由主義状況まで〕	思想文化論(講義) [6008]、政治学(講義) [7060]
6006	哲学(講義)	現代日本のカルチュ ラスタディーズ	前期火3	安藤丈将	1970年代以降、日本を含む産業国家に広まった新しい社会運動にカルチュラスタディーズの視点からアプローチする。これらの運動が、現代の文化についていかなる問題点と対抗文化を提起しているかを議論する。	
6139	比較文学(講義)	表象とテキストの分析 1	前期火3	李孝徳	様々な時代と地域における「他者」がどのように表象され、またその「他者」がどのように自らの表象を獲得していったのかを具体的な作品を通して分析する。	
7056	政治学(講義)	帝国・植民地の 政治社会史	後期木1	大川正彦	帝国/医療/植民地/人類学の交錯をめぐる研究文献を精読し、その歴史的現在についての省察を深め、各自の研究に活かす。	



7078	社会学(講義)	近代日本の社会と思想Ⅰ 人流と歌謡で考える 植民地帝国の近代	前期月3	中野敏男	近代という時代と植民地主義との本質的な関係を背景に見通しながら、近代における日本と東アジアの関係に焦点を定め、この時代と空間に生じた社会の変化と文化の変化と思想の変化とを関係づけながらその意味を考えていく。この考察を通して、近代日本の歴史を植民地帝国の精神史という側面から考え直すとともに、「流行歌」や「詩歌」といった文化現象を通して民衆の心情を考える社会学の方法についても学びたい。
7079	社会学(講義)	近代日本の会と思想Ⅱ 戦後に継続する 植民地主義	後期月3	中野敏男	近代という時代と植民地主義との本質的な関係を背景に見通しながら、戦中から戦後における日本と東アジアの関係に焦点を定め、この時代と空間に継続する植民地主義の問題を考えていく。この考察を通して、「平和と民主主義」が語られた戦後日本についての認識を再検討し、われわれが生きる現在の歴史的立場を見定めたたい。
7080	社会学(講義)	植民地主義と ジェンダー	前期火2	金富子	帝国日本—植民地との間で植民地主義とジェンダーがどのように民族や階級と結びついて複合的・重層的に作用していったのかを、植民地教育や徴兵制、参政権などをめぐって、ジェンダー史として考察する。今年は「韓国併合100年」という節目の年に当たることもあり、朝鮮を中心としながらも、台湾、北海道アイヌ、沖縄等の事例も積極的にとりあげていきたい。
7081	社会学(講義)	軍事主義と ジェンダー	後期火2	金富子	ジェンダー論、ジェンダー史の意義をふまえて、軍事主義とジェンダー(男らしさ、女らしさ)との関係に注目しながら、戦争・軍隊、植民地支配と兵士への性管理、性暴力としての性売買とがどのように密接な関係をもって展開してきたのか、東アジアを中心とする過去と現在の状況等に関して、考察していきたい。
9460	総合科目Ⅶ (ISEPTUFS)	Japanese Religions	前期月5	松村一男	This course aims to provide general information about the religious environment of historical and contemporary Japan.
9469	総合科目Ⅶ (ISEPTUFS)	Japanese Religions	後期月5	松村一男	This course aims to provide general information about the religious environment of historical and contemporary Japan.
9478	総合科目Ⅶ (ISEPTUFS)	日本神話入門	後期月5	平藤喜久子	神話というと、今となっては意味のわからない、古い物語というイメージがあるかもしれない。しかし、日本の神話には、日本の文化の成り立ちを知る手がかりとなるような面白い話が多く含まれている。この授業では、日本の神話に関する知識を得ながら、日本文化の成り立ちや他の国の文化との関係について考えていく。
9479	総合科目Ⅶ (ISEPTUFS)	HAIKU・俳句	後期金3	菅長理恵	This course has two aims. One is to introduce one of the streams of Japanese literature: from WAKA to HAIKU. The other is to show how to enjoy HAIKU. HAIKU is the shortest poem in the world, are each one requires the use of a word called KIGO that indicates the season. Today HAIKU is popular throughout the world. We will study why HAIKU is so attractive to so many people. How can such brevity have such charm? What is the KIGO? And why does HAIKU need the KIGO?
9480	総合科目Ⅶ (日研生科目)	日本の ポップ・カルチャー	後期金5	中島久朱	This course is designed to introduce students to some of the key aspects of contemporary Japanese popular culture. Throughout this course students will be encouraged to examine a variety of perspectives of cultural research theories. Then, by examining how popular culture is consumed and reproduced in the global context, consider the differences and similarities between Japan and their home country. Topics may include anime, manga, literature, films, music, food, fashion, art, online communication.
9482	総合科目Ⅶ (ISEPTUFS)	マンガ文化論	後期木4	小山昌宏	・「鳥獣戯画」から絵巻物、風刺画、現代マンガまで、そのルーツから現代までの文化形成を辿る。・マンガの構造、物語表現について、その世界像を把握する。・戦後日本マンガの社会的影響力について理解する。
9487	総合科目Ⅵ	日本の出版文化	前期水3	岩崎稔	①普段は完成態の本としか接点のない出版文化を、多様な視点から捉えることで、その全体像を獲得する。②日本の出版文化の鼎沸を、人文学そのものの運命に関わる問題として考えさせる。③とにかく本を好きになってもらう。

### 3. からだを動かす (運動文化)

履修番号	科目	講座名	日程	講師	講座内容	共通科目
4039	スポーツ科学基礎	武道論基礎	前期月2	東憲一	日本の伝統的な運動文化である武道の基礎的な知識の理解と、海外に出かけても日本の武道について語るだけの基礎的な知識を習得する。	
6261	スポーツ科学 (講義)	武道論Ⅰ	前期金1	東憲一	日本の武道の理解とその背景にある様々な文化、歴史、教育、政治制度、風俗、習慣、技術力等の要因について探る。世界各国の武道(術)との比較検討を行う。	
9308	スポーツ・身体運動基礎科目	民族舞踊(1)	前期金3	亀谷真知子	民族舞踊は、世界各地の多様な文化を基盤として、それぞれ独自の表現様式や身体技法が練り上げられている。同時に、それは人々の絆を深める大きな役割を担ってきた。この授業では、踊りを楽しみながら、舞踊の背景にある文化について学び、身体機能とコミュニケーション力の向上を目指す。	[9317](前期金4)、 [9325](後期金3)、 [9332](後期金4)
9318	スポーツ・身体運動基礎科目	護身術	前期金4	小谷泰則	この授業では、女性の初心者を対象として、柔道・柔術をベースとした護身術を学習してゆく。柔術には「関節技」「当て身」「投げ技」「寝技」などがあり、これらの技を学習し基本的な護身術を習得する。また、身体の健康のための、スポーツの必要性についても学習し理解することを授業の目標とする。	
9324	スポーツ・身体運動基礎科目	剣道	後期金3	東憲一	日本の伝統的な運動文化である剣道を、剣道だけでなく「剣道形、杖道」を基本から学ぶと共に、剣道は試合の実施、審判まで行う。剣道形、杖道については演武会という形で発表する。また、体力の増進をはかる。	
9328	スポーツ・身体運動基礎科目	合気道(1)	後期火4	東憲一	日本の伝統的な運動文化である合気道について、特徴の一つである相手との相対動作(形、礼法、各種呼吸、間合い、相手を尊重する態度等)を学ぶ。基本的な技を中心として習熟し、合気道を学ぶと共に体力の増進をはかる。	[9331](後期金4)



9333	スポーツ・身体運動基礎科目	合気道・杖道	後期集中	東憲一	日本の伝統的な運動文化である武道について、合気道と杖道を通して、武道の特徴の一つである相手との相対的動作(形、礼法、各種呼吸、間合い、相手を尊重する態度等)を学ぶ。基本的な技を中心に学ぶ、形を中心とした授業である。最終日は演武会を行う。	[9334](後期集中)
9335	スポーツ・身体運動基礎科目	弓道	前期集中	東憲一	弓道の種目特性を理解し、安全な射術の基本を正しく習得する。また、競技方法及びルールについて、弓具の取り扱い方、マナーや弓道施設の管理の仕方等を学ぶ。	

#### 4. さまざまな歴史のすがたを知る

履修番号	科目	講座名	日程	講師	講座内容	共通科目
3712	日本地域社会論	近現代日本社会におけるジェンダー—歴史的視点から	前期火2	野本京子	近現代の日本社会における女性の存在・役割に関する問題および論争を検証する。現代における諸問題について理解を深めると同時に、その淵源を歴史的視点にたつて考察していく。諸問題の具体的内容とその歴史的・社会的背景について考えることを通じて、参加者一人ひとりが自らの問題として考えていってほしい。	日本地域研究(講義)[7277]
3713	日本地域社会論	日本社会における農業・農村像とその変遷	後期火2	野本京子	戦前も視野に入れつつ、米が「コメ」となった経緯や農産物の輸入自由化問題、そして担い手の問題など、揺れ動く日本農業・農村社会の「現在」についての理解・認識を深める。農業の多面的価値や直面している諸問題への理解を通じて、現代の日本社会における農業や農村の持つ意味・意義について考えていきたい。	日本地域研究(講義)[7278]
3715	日本地域社会論	民衆史Ⅱ	後期水2	友常勉	戦後日本および西洋史における民衆史の方法と研究成果をふまえたうえで、「民衆史」の射程を検証する。近現代日本の文化史、心性史、文化運動史、さらに精神分析的アプローチも試み、最終的には現代日本の地域社会が抱えている課題を積極的に考察していきたい。	日本文化論(講義)[6137]、日本地域研究(講義)[7280]
3716	日本地域社会論	日本の伝統社会と人びとの暮らし	前期木3	吉田ゆり子	現代の日本社会、とりわけ日本人の生活やものの考え方がどのように形成されてきたのか。失われつつある町並みや生活をどのように保護し、伝えてゆけばよいのか。近代以前の日本のあり方を具体的に知ることで、現代社会を理解し、今後の日本社会のあり方を考える手がかりとすることを目標とする。	歴史学(日本史Ⅰ)(講義)[7114]、日本地域研究(講義)[7281]
3717	日本地域社会論	日本の古文書を読み解く	後期木3	吉田ゆり子	日本の伝統社会を理解するためには、その当時書かれた史料を読み解くことが求められる。一見難しそうに見える古文書を解読し、具体的な人々の暮らしを明らかにしてゆく作業をおこない、伝統社会の実像にせまる楽しみを味わうことを目的とする。	日本地域研究(講義)[7282]
3722	日本地域社会論	近代日本宗教史	前期金3	伊達聖伸	「宗教的なもの」は社会のなかの一領域を占めるにすぎないのか、社会の根幹そのものにかかわるのか。後者の視点を意識しつつ、日本の諸宗教や宗教現象に注目していくと、「日本的」な宗教のあり方が見えてくるのではないのか。このような問題意識を持って、日本宗教史の記述方法を考察していく。受講者には、各人が関心を持つ社会における「宗教的なもの」を(日本との比較において)どうとらえればよいかを考えてほしい。	日本地域研究(講義)[7284]
3724	日本地域社会論	現代日本経済史	前期金1	中村一成	近年、日本では「改革」の必要性が声高に唱え続けられてきた。なぜ今日の日本では「改革」が求められ続けるのか、そしてその場合「改革」の意味とは何か。この授業の目標は、現代日本の社会経済における様々な問題を歴史的な視野に位置づけて理解すること、とりわけ社会経済領域における国家・政府の役割が、時代によってどのように変化していくのかを理解することである。	日本地域研究(講義)[7419]
4064	歴史学基礎	日本史研究入門	前期木1	若尾政希	近年、私は「社会通念・常識という視角」から歴史・時代を読むことにより、歴史研究を打ち立てようとしている。本年は、食をめぐる社会通念を取り上げ、皆さん方を日本史研究の世界にご招待したい。	
7100	歴史学(世界史Ⅰ)(講義)	アジア史—近代東アジア国際関係Ⅰ	前期火2	佐藤公彦	「華夷秩序」の複合としての東アジアの伝統的国際秩序は、近代になってから崩壊し、不平等条約体制下に置かれる。アヘン戦争以来の清朝中国を中心とする国際関係の変動を周辺諸国、日本、列強を含んだ角逐として捉え、その中でアジアの政治社会変革がどのように生まれたのかを理解する。「アジアの中の近代日本」の位置が把握できるようにする。	
7113	歴史学(日本史Ⅰ)(講義)	重光葵『昭和の動乱』を読む	前期金3	池田直隆	大正・昭和期の外交官・政治家であった重光葵が巣鴨の獄中で記した外交回想録『昭和の動乱』を抜粋・輪読することで、昭和前期の国際関係史を概観する。第一級の外交官・重光葵の眼を通じた世界情勢分析、日本政治分析を振り返ることによって、本講義が国際関係における日本の地位を知るヒントを受講者に提供できればと考えている。	

#### 5. 現代社会を知る

履修番号	科目	講座名	日程	講師	講座内容	共通科目
3714	日本地域社会論	民衆史Ⅰ	前期水2	友常勉	部落史・部落問題を中心にとりあげ、その歴史、現状、論争の観点から理解する。また、戦後日本の同和行政の問題点とその社会的歴史的な文脈を考え、現代社会における差別問題研究の方法論と意義についても理解する。	日本文化論(講義)[6136]、日本地域研究(講義)[7279]
3718	日本地域社会論	建築と文化	後期水3	横手義洋	建築が担う文化的役割を理解すること。また、その集積である都市の姿を、歴史、美学、経済、政治といったさまざまな角度から理解できるようになること。	
4065	教育学基礎	教育社会学入門	前期木2	倉石一郎	教育現象について、適切な判断を下していくのに不可欠な、教育を全体社会のなかに位置づけ、社会的文脈の中で解釈できるような理解力・スキルを身につけることを目指す(このような力を教育社会学的のもの見方と言う)。	



4066	教育学基礎	インクルーシブ教育 (障害児教育) の諸相	後期末2	倉石一郎	日本における障害児教育の動向、また世界における潮流について正しく把握し、この問題について判断できるための素養を身につける。
6018	グローバル・ スタディーズ (講義)	英語で学ぶ国際社会 と日本の戦争責任・ 戦時賠償問題	前期金1	岡田泰平	本授業では日本の戦後史(1945年～現在)及び国際環境の中での、戦後補償問題を考察します。具体的事例としては「従軍慰安婦」や中国人・韓国人の強制連行などに注目します。基本的には、1)日本占領下のアジア諸国において何が起きたかという実証、2)戦後史における戦後賠償及び戦後補償問題、3)1990年代、戦後補償運動がどのように社会運動として成立してきたか、という三つのレベルから見ていきたいと思います。特に今年度については、歴史修正主義者がどのように政治的影響力を保持してきたかという点にも注意を払いたいと思います。
6255	地誌学(講義)	日本の地誌	前期金4	原田洋一郎	日本を対象として、さまざまな事象の地域差や相互関連のあり方、特定の地域における諸要素の関連のあり方を把握する方法を習得する。
6256	自然地理学 (講義)	地形と気候	後期火2	井上耕一郎	地球表層の形態である「地形」や地球大気の大気運動が生み出す「気候」という切り口から自然への理解を深めることを目標にする。自然地理学的な視点から日本や世界を見る目を養う。
7052	政治学(講義)	英語で学ぶ 現代日本政治	前期火2	杉之原真子	民主主義でありながら、長年自民党による一党優位体制が続いた日本政治の性質を考察し、2009年の政権交代が何を意味するのかも含めて、比較政治学的な視点から論じる。また、戦後の日本外交と国内政治との関係も考える。日本政治の分析に加え、政治・時事問題関連の英語の語彙を増やすことも目的とする。
7057	政治学(講義)	現代日本政治論	前期火3	北脇保之	現在日本が抱えている政治的課題は内外ともに非常に多いにもかかわらず、政治の方向性が見えず、政治的活力も乏しい。日本の政治について、基礎的な知識と分析の視点を修得し、現在の政治状況がなぜ生じているのか、また個々の課題にどう対処すべきかを考える。
7058	政治学(講義)	日本の地方自治	後期火3	北脇保之	日本の地方自治・地方行政は、諸外国に比しその規模・守備範囲は大きい。その一方で、中央政府と地方政府の間の相互依存関係が強いという特徴がある。このように我が国の政治・行政全体の中に位置づけて、地方自治の制度、機能について理解を深める。そのうえでこれまでの地方分権改革の動きを跡づけ、財政再建、自治体間格差是正など現在自治体が直面している課題を検討する。さらに「新しい公共」論などに関連して市民社会の中での新たな地方自治を展望する。
7068	経済学(講義)	世界金融危機後の 日本経済	後期水1	小林真一郎	一般的な経済学、金融・通貨制度に関する基礎的な知識の習得を目標とする。理論よりも、現在社会における金融経済の実態、時事問題や最新の動向など、一般社会に出てから役に立つ知識の習得に力点を置く方針。特に、世界金融危機とその後の日本経済の状態について、金融面を中心に広くマクロ・ミクロ両面にわたって講義していく。
7082	社会学(講義)	フィールドワーク 調査法	前期水3	黒坂愛衣	(1)「他者と出会う」方法としてのフィールドワーク調査(参与観察と聞き取り調査)について、それぞれの方法の可能性(長所と限界)、フィールドへの入り方、倫理の問題、記録のつけかた、資料化のしかた、作品化、分析のしかたにいたるまで、具体的な材料を用いて実践的に学ぶ。(2)日本のインビジブル・マイノリティの問題、とりわけ部落差別問題とハンセン病問題の「現在」に触れ、この問題についての自分なりの考えを構築する。
7083	社会学(講義)	居住の社会学、 および 非営利活動論	後期水3	瀧脇憲	リーマンショックから一年余りが経過したが、年末年始は住まない求職者が「派遣村」に集まる光景が恒例になった。いまや日本社会は、人が安定した住居のうえに生活を営むことが、自明ではなくなってしまったのである。しかしこのような現象は、現代における「居住の脆弱性」の一端を示したにすぎない。本講義では、さまざまな「居住困窮者」が生み出される社会構造を概観したうえで、非営利活動の実践を通して、人間生活の再生と社会再生の方法論をあわせて考察することを目標にする。
7089	比較教育学 (講義)	差別と共生の 比較教育社会学	前期木3	倉石一郎	日本のマイノリティが直面している諸問題を、教育社会学の視座から理解し、将来市民としてこうした課題に取り組むための素養を養う。被差別部落や在日コリアンをはじめとする日本のマイノリティが、学校や教育現場でどのような経験をしてきたかを、とくに「長欠」現象に注目しながら講義する。
7406	国際関係論 (講義)	日本外交論A	前期月4	山田文比古	日本外交の課題について分析する能力と専門的な知識の修得を目指す。将来、外交、国際機関、NGO、ジャーナリズム、メディア、ビジネスなどの現場で、国際的に活躍したいと考える学生を対象とする。前期の講義では、近代以降の日本外交の歴史を振り返った上で、今日の日本外交の基本的問題につき考察する。
7407	国際関係論 (講義)	日本外交論B	後期月4	山田文比古	日本外交の課題について分析する能力と専門的な知識の修得を目指す。将来、外交、国際機関、NGO、ジャーナリズム、メディア、ビジネスなどの現場で、国際的に活躍したいと考える学生を対象とする。後期の講義では、個別のテーマを順次取り上げ、専門的に分析・考察する。
9453	総合科目Ⅶ (日研生科目)	比較教育学概論	前期金3	岡田昭人	日本の教育制度や学校教育が抱える問題点を諸外国との比較を通して認識を深めることを主たる目的とする。
9456	総合科目Ⅷ (ISEPTUFS)	外から見た 日本文化・社会 :人類学的観点から	前期火4	堀口佐知子	The objective of this course is to provide an introduction to Japanese society and culture from an anthropological perspective. Students are expected to relate their readings with everyday experiences throughout the course.
9461	総合科目Ⅷ (ISEPTUFS)	Introduction to Japanese Politics	前期火3	Mir Monzurul Huq	The course is intended to train students (1) to develop an understanding of the political system of Japan; (2) to guide them to acquire in-depth knowledge of the functioning of various organs that play key role in making a democratic political system meaningful and (3) to develop their analytical skill by arousing their interest in comparative studies of similarities and differences of the political process of Japan and other democratic societies.



9462	総合科目Ⅷ (ISEPTUFS)	Media and Politics in Japan	前期火4	Mir Monzurul Huq	The course is intended to train students to (1) to develop an understanding of the major characteristics of the Japanese media; (2) to become familiar with the role media are playing in the democratic political structure of Japan; and (3) to develop students' analytical skill by focusing on and comparing similarities and differences between the media in Japan and in other countries.	
9463	総合科目Ⅷ (ISEPTUFS)	比較日本映像論	前期金4	岡田昭人	Major aspects of the development of post-war Japanese cinema are explored through an examination of various noted films. The relation of sound music, editing, camera angle, etc. in constructing a director's aesthetic will be considered. In several cases comparisons will be made between the original text and the film version. In addition, the social and cultural significance of various films and their relation to national and international film history will also be introduced.	[9469](後期月5)
9465	総合科目Ⅷ (ISEPTUFS)	日本の社会と宗教	前期月4	平藤喜久子	今の日本社会で話題となっている宗教をめぐる問題について、正確な知識を獲得し、その問題についてディスカッションを通して自分の意見をもてるようになる。	
9466	総合科目Ⅷ (ISEPTUFS)	現代日本の宗教文化	前期月5	平藤喜久子	一般的に日本人の多くは複数の宗教と関わりを持つといわれている。たとえばお正月には神社に初詣に行き、結婚式はキリスト教式で行い、お葬式は仏教式で行う人は珍しくない。その一方で、日本人は無宗教であるとも言われる。このような状況を踏まえ、この授業では、現代の日本人と宗教との関わりについて知識を深めてもらう。また、日本の宗教に関する基本的な知識を得てもらう。	
9468	総合科目Ⅷ (ISEPTUFS)	社会開発論と日本	前期末3	MOCK John A.	*Provide students with a basic understanding of social development. *Help students understand how social development may, or may not, be beneficial. *Assist students in strengthening their geographical, economic, social, political and cultural understanding of the world, past and present. *Focus general principles of social development on the industrialized world, especially Japan. *Promote a clearer understanding of the overall development of Japan in the context of the modern world.	
9470	総合科目Ⅷ (ISEPTUFS)	Topics of Contemporary Japan	後期火3	Mir Monzurul Huq	This course is intended to provide students with the opportunity of understanding Japan in a better way by focusing on various topics that are currently being discussed or debated in the media. Detailed analysis of such topical issues will help students getting an in-depth knowledge of major developments that are shaping economic, political and diplomatic policies of Japan, and by doing so, help students to develop their own analytical skill of events that are crucial in the process of advancement in any society.	
9485	総合科目Ⅷ (ISEPTUFS)	民衆史からみた 近現代日本社会の 文化	後期月4	友常勉	1 To introduce students to the basic ideas of modernization and westernization in modern Japanese history. 2 To introduce students to various forms and topics of Cultural Studies relevant to Japan Studies. 3 To develop students' skills of critical thinking and investigation in order to realize their individual interests.	

## 6. 文化の多様性につれる

履修 番号	科目	講座名	日程	講師	講座内容	共通科目
9434	総合科目Ⅵ (Add-on Program)	多言語・多文化 社会論入門Ⅰ	前期火4	青山亨	グローバル化が進む中で、日本においても外国人登録者の数は200万人を超え、その国籍も多様化している。結婚する日本国籍者の15組に1組が国際結婚でもある。このように多言語・多文化化が急速に進行している日本の現状について、これからの日本社会を生きていくための新しい生き方・考え方の素養を自ら育んでもらうことを目標とする。日本の多言語・多文化化を考えるための基礎的知識を学ぶ。	
9435	総合科目Ⅵ (Add-on Program)	多言語・多文化 社会論入門Ⅱ	後期火4	青山亨	グローバル化が進む中で、日本においても外国人登録者の数は200万人を超え、その国籍も多様化している。結婚する日本国籍者の15組に1組が国際結婚でもある。このように多言語・多文化化が急速に進行している日本の現状について、これからの日本社会を生きていくための新しい生き方・考え方の素養を自ら育んでもらうことを目標とする。日本の多言語・多文化化の現状を現場の実践者から学ぶ。	
9436	総合科目Ⅵ (Add-on Program)	多言語・多文化社会 論(歴史と現在)	前期末1	伊慧瑛	世界諸地域における多言語・多文化社会の歴史と現在を知ることで、日本における多言語・多文化社会の現状と課題を考えるための視点を養うことを目標とする。	
9437	総合科目Ⅵ (Add-on Program)	多言語・多文化社会 論(言語とコミュニ ケーション)	後期末1	松原好次	言語やコミュニケーションに関わる理論的背景・知識の提供を目的とする。とりわけ、異言語・異文化間コミュニケーションのあるべき姿について考えることを促し、「批判的言語認識とは何か」を問いかける。	
9438	総合科目Ⅵ (Add-on Program)	多言語・多文化社会 論(社会・文化)	前期金2	大川正彦	多言語・多文化社会にかかわる重要な概念をおさえつつ、マジョリティの相対化と、「他者」へのまなざしという観点から、日本社会の多言語・多文化状況について考える。	
9439	総合科目Ⅵ (Add-on Program)	多言語・多文化社会 論(政策と法)	後期金2	北脇保之	国内において近年急増してきた外国人について、歴史的背景、法的状況等の観点から受入れ状況の分析を行う。その後、外国人受入れの政策的・法的スキーム、その将来展望を概観し、さらに、労働、社会保障、教育をはじめとする外国人の生活に関する具体的問題を取り上げ、これらに関する政策と法律について扱う。併せて先住民族をめぐる問題も取り上げる。授業を通じ、問題に関連する政策と法を理解し、主体的に問題の把握・解決を考えることで、分析力、解決能力を養う。	